

平成30年度第3回長野市景観審議会記録

日時 平成30年7月27日（金）
午前8時30分～午後5時
場所 市役所第一庁舎 7階 第2委員会室

出席委員 14名

赤羽委員、稲葉委員、久米委員、野口委員、羽藤委員、山貝委員、石黒委員、
加藤委員、北村委員、篠原委員、土倉委員、池内委員、下崎委員、森山委員

欠席委員 1名

大上委員

※ 長野市景観賞 現地調査

出 発：午前8時30分（桜スクエア）

調査地：長野市内各地

帰 庁：午後3時

※ 審議会

1 開 会

定足数の確認

2 会長挨拶

3 審 議

（1）第31回長野市景観賞 最終選考について

事務局：【資料1、資料2により、最終選考投票方法、選考方法の確認・説明（省略）】

議 長：現地調査をした15作品について、率直な意見交換をお願いします。

委 員：今回の候補の大半は、緑化がテーマだが、建物の周りの植栽について、
専門家である委員のご意見を聴かせていただきたい。

委 員：建物の周りの植栽で一番目立つのは草で、いくら植栽が良くても足元が
悪ければ、残念に見える。

No.24の牧野邸は、植栽を意識して建ててあり、無理なく植栽が自然に馴染
んでいた。

No.18のホクト本社は、建物とマッチするような木立があると、もっと建物
が引き立つのではないかと思う。

No.27のまち畑プロジェクトは、箱形の野菜畑をどう装飾すれば良いか研究し、綺麗などころと雑草があるところをきちんと分けると良かった。

No.7のスタイリッシュな花屋は、オリーブやユーカリが上手に植えてあり、建物の外観との調和にも配慮しているように見えた。

No.12のサンマリーンは、遠くから見ると綺麗に見えるが、ベースは芝なので芝生の美しさを出すべきである。入場料も相応なので、ホスピタリティの精神が欲しい。

委員：今回は完璧なものが見当たらない。選考要素をすべて満たしているものはない。個人の判断で、ここが飛び抜けているので良いという判断をしてよいか。

事務局：選考要素を全て満たすことは難しいと思う。特に優れていると明らかであれば問題ないと思う。

委員：実施要綱に、長野市の優れた景観の形成に寄与している建築物や工作物、団体とある。山羊のいる畑は、とても良い取り組みで今後の経過を見たいが、景観としては未熟かと思う。取り組みや活動の価値は、考慮しないでよろしいか。

議長：そのような考え方でよろしいかと思う。

委員：No.8松代中心市街地活性化協議会は、自ら景観賞を行っている団体で、そこを表彰する意味があるのか。素晴らしい活動をしていると思うが、全国的に評価されたこともあり、どう考えればいいのか。

委員：選考基準に、長野市の歴史、文化などに対して配慮されているもの、とあるが、非常に難しい。これについて、どのように考えているか。

事務局：善光寺周辺のように、明らかに歴史的な街並みが残っているところでは、それに配慮されたものとなる。住宅地などそうした景観がないところは、地域の景観や環境に適応した建築物などを選んでいただきたい。

議長：採点をお願いします。採点后、集計のため休憩します。

【採点・集計のため休憩】

【審議再開】

事務局：【採点集計結果について高得点順に説明】

議長：表彰作品は最大5作品だが、5位と6位は1点差である。上位何作品から最終選考の対象とするか、ご意見を聴きたい。

委員：7位以下は得点差があるので、上位6作品の中から選考するのが適切かと思う。

委員：No.27まち畑プロジェクトは、地域の空地进行再生する価値のある取り組みで、コミュニティの形成にも役立っている。しかし、景観賞なので例えば山羊の小屋など、もう少し見栄え良くしたらどうかと思う。評価した方は、どこを評価したのか。

委員：面白味や魅力のある、新しい発見のあるものが出た方が良いと思う。

委員：活動に対する心意気を買いたい。周辺に良い影響を与えていると思う。

委員：周辺の人を巻き込んで、活動していることは評価できるが、景観賞の工

作物として評価するのはどうかと思う。

委員：分類が工作物となっているが、今から市民団体とすることはできるか。

議長：そこは、我々が変えていいところではないと思う。

委員：立派な畑やヤギ小屋を作らなくてもよければ、魅力的な畑だと思う。空き地を管理するとき、参考にする人も出てくると思う。

委員：景観賞で評価するものか疑問に思う。

委員：「長野らしい景観」が、そんなに立派なものかと問いかけをされていると感じる。綺麗でなくても、身の丈に合ったもので良いと思う。みんなと協力して、周辺の景観にマッチしているのなら、賞の趣旨とそれほどずれていない。

委員：まち畑はソフト事業だと思う。工作物と分類されていることが問題なので、来年、市民団体として再度応募していただきたい。ソフト事業とハード事業を一緒にするのは好ましくない。

委員：周辺の人が喜んで集まっているのも景観の一つだと思う。洗練されていないが捨て難い。

委員：オープンスペースは、今まで整ったものを評価してきたが、本当に使う人がいるのかと疑問に思う。まち畑は山羊のいる景色によって、あれほどの人が集まってくるのなら、景観として捉えて、景観賞に取り入れていければと思った。

議長：まち畑にたくさん人がいたが、現地について調査に行くか伝えたのか。

事務局：現地調査対象の施主に、行程表と訪問したい旨の通知を送ってある。

委員：長野市に、住民活動活性化を表彰する制度はないか。あの活動は素晴らしいが、景観に資するのかという疑問はある。

委員：今までになかった活動なので、最終選考に残ったことは良かったが、現地を見て景観賞には該当しないと思った。新しい景観の在り方という考え方は大切だが、現在の景観賞の判断基準は、ここの8つの選考要素で、まち畑はこれに該当しないと思う。活動を評価するなら、良い活動なので、景観賞とは別の表彰の仕方があるのではないか。

今後、あのような活動も取り込んだ、もう少し幅の広い景観賞にしていきたいのであれば、選考基準にあのような活動が該当する項目を入れた方がいいと思う。

議長：まち畑プロジェクトについては、意見が出尽くしたと思うので、最終選考に残すか多数決で決めたい。

【最終選考に残す6名。選考から外す8名】

では、まち畑は候補から外すこととします。他の作品についてはいかがか。

委員：松代中心市街地活性化協議会は、表彰するなら景観奨励賞が適切かと思う。

委員：緑に囲まれた我が家は、1970年に建てられた建築物で、綺麗に建てられているが、バラと和風庭園、芝生の景観が美しいかと考えると、建築当時は美しかったかもしれないが、今ではそれほど魅力を感じない。

委員：私は評価した。古い地区にあって、町の景観の維持に努力しており、周辺にも良い影響を与えている。景観賞で家を庭が調和したものを表彰していくと、緑の豊かな家が増えていくと思う。植栽に手を入れて、家を綺麗にしていくことは、景観にとって重要なことだと思う。

委員：塀がなくオープンスペースのようになっており、築年数は経っているが保存状態も良く、見本になる住宅だと思う。

委員：建物は洋風なのに家紋が書かれた暖簾がある。フェニックスの木が庭の中央にあって、ツツジや松が植えられている折衷様式をどう考えるか。

委員：今回、個人住宅が2作品残っている。仮に2作品とも受賞した場合、まったくテイストが異なるので、綺麗なら何でも有りなのかと思われてしまう。多様化という意味では良いことだが、何らかの主張をこの審議会でも良いと思う。

委員：これほど意見が割れているのは、景観賞に値する作品が出てきていないため。皆さん、自分なりの意義付けをして点数化しているが、意見が割れており、2作品が同時に受賞すると混乱すると思う。

委員：住宅は近年景観賞をとれていない。以前、住宅部門を設けようという意見があったが、全体の中で評価しようという結論になった。

住宅は規模が小さく受賞しにくい。対照的な2作品が応募してきて、議論は盛り上がっているが、同時に表彰して良いのかという問題もある。住宅は、他の建築物に比べると要素が単純なので判断が難しいので、色々な観点から議論してほしい。

議長：一旦、議論をまとめる。上位3作品は、最終選考に残してもよろしいか。

【異議なし】

では、ここまでは候補に残すが、住宅2作品について何かありますか。

委員：緑に囲まれた我が家は、オープンガーデンとして、周辺に与える影響も大きい。日本庭園の緑とバラを分けて植えており、アンバランスでもこちらを選びたいと思う。牧野邸は近代的な綺麗な住宅だが、閉鎖的に見える。

委員：緑に囲まれた我が家は、建築年代と家主の年代もあり、庭が外に開かれている。世代の価値観を象徴していて、その年代の人たちに共感できるものを提供している。

牧野邸は、若い世代のスタイリッシュな形だが、敷地をセットバックしてオープンスペースを作り、地域社会と接点を作ろうとしている。

どちらを評価しても良いし、その年代の人たちの価値観を表現しているので、そういう意味では2作品とも表彰しても良いと思う。

委員：緑に囲まれた我が家は、今の景観賞に該当するのか。見て素敵だし、行ってみたいと思うが、子どもの頃のお金持ちの家への憧れのような感覚。

委員：私も近い感覚だ。家を持ちたいと考えると、とても広い庭があり、こういう家を持つのは難しいだろうと思う。景観賞が指針となって周辺への波及効果を狙っているなら、どちらかといえば牧野邸の方が景観賞としては適当ではないかと思う。

- 委員：サンマリーンなのは、建物の高さも抑え屋上緑化をするなど、新しい提案がある。
- スタイリッシュな花屋は、太陽光パネルの置き方が上手に考えられ、屋根色とマッチするパネルを採用している。太陽光パネルの使い方の好事例で、これからの店舗の作り方への波及効果を期待できる。
- 松代中心市街地活性化協議会は、まち歩きの成功事例で、もっと知られていく意味がある。
- 住宅は長野で家を作るのであれば、こういう形の家を作れば良いと言えるものを選ばなければいけないが、2作品ともそういう点ではインパクトに欠ける。緑に囲まれた我が家は、これから何かを与えるものではなく、長野らしくもないと思う。牧野邸は、このくらいなら建てられるかな、と思わせるが、似たようなものはある。もっと長野らしい住宅のモデルを選びたい。
- 委員：応募が挙がってきていないという問題がある。
- 委員：それは、モデルになるような家がないという問題である。長野に住みたいと思える家を見ない。長野の住宅のレベルは低く、長野の景観を良くしていくには、住宅のレベル向上が必要だと思う。
- 委員：住宅を表彰して啓蒙していきたいが、このレベルで表彰すると誤解を招くという意見か。
- 委員：もう少し良いものができたときに表彰したい。住宅は表彰作品のレベルを上げ、長野らしいとか、古民家改修したものを表彰したい。
- 委員：長野らしい、というのはどういうものか。中条と戸隠では、周辺の住宅の様子は全く異なる。
- 委員：この周辺はこういう住宅が多いという特徴があると思う。BURTONの裏にも、蔵や屋根つきの井戸がある家があるようだった。そういう地区に、素敵なものがあれば表彰したい。
- 委員：場所によって違うということか。
- 委員：違うと思う。特に長野の中山間地にあるような住宅は、日本中探してもあまりない。中山間地で古民家を美しく改修したものがあればと思う。各地域で長野らしさは違う。以前、農家の門が蔵になっていることに驚いた。そういうものが長野らしさだと思う。
- 委員：それは、長野のごく一部の話ではないか。
- 委員：川中島の農家の形態は、ある程度決まっている。そうしたものを守っていく姿勢が、大きな意味での長野らしさになる。
- 委員：箱清水に建っている牧野邸が、長野らしくないというのは、論理的に破たんしている。
- 委員：住宅を景観賞で表彰したい。松本市は住宅の表彰が多いが、それは質の高いものが出ているということ。今回、この2作品又はどちらか一方を表彰して、あとで何故、ということにならなければいいと思う。
- 議長：ご意見のある方もいらっしゃると思うが、住宅を表彰するか否かを決

めたい。

今回は、住宅は表彰せず、サンマリーンながの、スタイリッシュな花屋、松代中心市街地活性化協議会の3作品とすることに、賛成の方は挙手をお願いします。

【賛成11名、反対3名】

では、住宅2作品は選外とします。

続いて、景観賞と景観奨励賞をどれにするか決めたい。先ほど、松代中心市街地活性化協議会は、景観奨励賞という意見があった。

委員：スタイリッシュな花屋は、通りに面した方から見ると綺麗に整備されていたが、裏側は古い建物の外壁がそのままになっていることが気になった。まだ改善の余地があるので、景観賞には適さないと思う。

委員：私もそこは気になったが、投票結果では皆さん高く評価しているので、景観賞でも良いのではないか。

議長：得票数1位のサンマリーンながのは、景観賞でよろしいか。

【異議なし】

委員：スタイリッシュな花屋は、ランドマーク的な親子の麒麟や、お金をかけていなさそうなのに綺麗に仕上げていることを評価した。

委員：あの立地を考えると、良く考えて頑張っている。街並みを変えていくだけの起爆力はあると思う。

委員：シルバーパネルの屋根と太陽光パネルの組み合わせは、工夫されている。

委員：しっかりと樹木を植えて壁面緑化を施すなど、気楽にお店には入れる工夫をしている。

委員：スタイリッシュな花屋は、古いサイディングが露出しているが、表側はきちんと整備しており、これで良いと思う。太陽光パネルも配慮して設置し、空間作りのために植栽にも投資している。

お金をかけ立派に作って、仕事完結していれば景観賞だという視点を変え、何か新しい価値観を景観賞が生み出していく必要があると思う。

議長：スタイリッシュな花屋を、景観奨励賞にするか決めたいので、挙手をお願いします。

【景観奨励賞11名、景観賞3名】

では、スタイリッシュな花屋は景観奨励賞とします。

続いて、松代中心市街地活性化協議会も挙手で決めたいと思います。

【景観賞2名、景観奨励賞11名、棄権1】

では、こちらも景観奨励賞とします。

そうしますと、公共のサンマリーンながの1作品のみが景観賞。スタイリッシュな花屋と松代中心市街地活性化協議会が景観奨励賞となる。

委員：支所や住民自治協議会からは、応募がなかったのか。

事務局：募集期間は、支所職員や住民自治協議会が忙しい時期であり、難しいと思う。

委員：支所にはリーフレットを送ってあるのか。

事務局：周知は、広報ながの4月号への掲載、リーフレットを各支所・公民館・関係団体事務局・工業系の学校へ配布している。

議長：では、これで決定ということで、第31回長野市景観賞はサンマリーンながの、景観奨励賞はスタイリッシュな花屋と松代中心市街地活性化協議会の2作品とさせていただきます。

【異議なし】

では、以上をもって、本日の審議は全て終了します。皆さん、暑い中、長時間の現地調査お疲れ様でした。ありがとうございました。

6 その他

7 閉会
部長挨拶